

Kurashiki Academic Winds

*The 7th
Regular Concert*



February 7, 1999

『ごあいさつ』

この度第7回定期演奏会を迎えることができますことは、一人の喜びをもって厚く御礼を申し上げますと共に、当バンドの発足以来50名を越えるまでに成長してきたことは誠にご同慶の至りに存じます。

一昨年来、県吹奏楽コンクール大会に参加するようになって、従来の活動から一層視野を拡げた密なる交流により、有形無形の深い精神的な財産を得ることができ、飛躍への糧となっているように思えます。このことが、メンバーのそれぞれにとって自覚と強い連帯感ともなってきたと、感慨を深くいたしております。これは未来への礎石を築くものと確信しております。地域社会との結びつき、音楽仲間との絆をより密接にしていきたいと、切望いたします。

最後になりましたが、皆様の温かいご支援に感謝しながら、この節目を契機に初心にかえって頑張っていきたいと思っております。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻方よろしくお願い申し上げます。

倉敷アカデミックウインズ団長 平松 正登

『ごあいさつ』

本日はお寒い中、「倉敷アカデミックウインズ」の演奏会にお越し頂きありがとうございます。昨年、この倉敷市芸文館で演奏会を開催した際に、「一年後に演奏会をするので、私たちの成長した姿を見に来て下さい」と皆様をお願いをいたしました。約束が果たせましたことに喜びを感じると共に、皆様への感謝の気持ちで一杯です。

社会人のバンドは常に団員の仕事や学業との両立が課題となります。そのような状況の中でこの一年間、指揮者の身を削るような努力と親身な指導に応えるべく、団員一同一生懸命練習に励み、実行委員会が中心となってこの演奏会の準備を進めて参りました。演奏面については発展途上段階を抜け切れていないのでは…と思っておりますが、これまでの成果を皆様に聴いて頂き、私たちの音楽を少しでも感じて頂ければ幸いです。

演奏会にお越し頂いた皆様や団員のご家族、吹奏楽連盟関係者の方々など、多くの方の温かいご支援により、やっとここまで成長することができました。目指すべきところはまだ遠いですが、皆様のご指導、ご鞭撻を頂き、さらなる成長を遂げるよう努力していきたいと思っております。今後とも「倉敷アカデミックウインズ」をよろしく申し上げます。

倉敷アカデミックウインズ総務 高見 康彦

Program

First Stage

アルメニアン・ダンス Part 1 ◆ A. リード
Armenian Dances Part 1 Alfred Reed

バレエ音楽「ライモンダ」より ◆ A. グラスノフ
de Ballet "Raymonda" Alexander Glaznov
第1幕 情景 Act Premier Scene 1
第2幕 アラビア少年の踊り Danse des Garçons Arabes
サラセン人の入場 Entrée des Sarrazins
第3幕 間奏曲 Entr'acte

バレエ組曲「エスタンシア」 ◆ A. ヒナステラ
Dances from ESTANCIA Alberto Ginastera
I. 開拓者たち The Land Workers
II. 小麦の踊り Wheat Dance
III. 牧童 The Cattle Man
IV. 終曲の踊り(マランボ) Final Dance (Malambo)

Second Stage

フニクリ・フニクラ ◆ L. デンツァ
FUNICULI FUNICULA Luigi Denza

チューバ吹きの日 ◆ G. ハル
BASSMAN'S HOLIDAY Grant Hull

イスパニア・カーニ ◆ P. M. ナロー
Espana Cani for 3 Trumpeters and Band Pascual Maruquina Narro

宮崎駿アニメ・メドレー ◆ 久石 譲
Medley from Miyazaki's Works Jo Hisaishi

ガーシュウィン! ◆ G. ガーシュウィン
GERSHWIN! George Gershwin

枯葉 ◆ J. コスマ
Autumn Leaves Joseph Kosma

サウンド・オブ・ミュージック・メドレー ◆ R. ロジャース&O. ハマーStein
The Sound of Music (Medley) Richard Rodgers & Oscar Hammerstein

アルメニアン・ダンス Part 1

アルメニアン・ダンスは、アルメニアのクラシック音楽の父と云われたゴミタス・ヴァルタベド（1869～1934）が収集したアルメニア民謡に基づいて書かれた、4楽章で構成されている組曲である。

パート1は、この組曲の第1楽章として1972年に作曲され、1973年にハリー・ピジンの指揮によるイリノイ州立大学シンフォニックバンドによって初演された。

曲は、金管のファンファーレに始まる「あんずの樹」、「山うずらの歌」、5拍子が特徴的な「ホイ、私のナザン」、広大な景色を思わせる「アラギアズ」、コサックの舞曲を想起させる「行け、行け」の5つの舞曲が狂詩曲風に展開され、管打楽器によるアンサンブルの可能性を広げる数々の試みがなされている。

（なお、昨年までの定期演奏会およびホームページ上でのアンケートの結果、この曲やA. リードの作品へのリクエストが多かったことから、オープニング曲として選曲させていただきました）

バレエ音楽「ライモンダ」より

アレクサンダー・グラズノフ（1865～1936）は、リムスキー＝コルサコフに作曲を学び、未完成だったボロディンの「イーゴリ公」を師との共作で完成させたほか、バレエ「四季」や交響詩「ステンカ・ラージン」などの代表作で知られる、近代ロシア音楽の大家である。

「ライモンダ」は、小説家リディア・パシコーヴァが書き下ろした3幕形式のバレエで、貞淑で美しいライモンダはあるサラセンの貴族に誘拐されるが、彼女の婚約者で十字軍の騎士であるジャン・ド・ブリアンが寸でのところで遠征から帰還してサラセン人との一騎打ちに勝利し、彼女を救出する、というあらすじの中世ロマンスである。

バレエの初演は、名高い1895年の「白鳥の湖」を演出したプティパと、オデットを演じたリニャーニがライモンダ役を務めて観客を魅了したにもかかわらず、残念ながら「傷のある宝石」と評されたが、その後、ポリショイ、キーロフ、ロイヤル・バレエなどが新たな演出による改訂公演を行っている。

グラズノフがこのバレエに付した音楽は、チャイコフスキーが確立したロシア・バレエの形式に加え、師リムスキー＝コルサコフはもとより、リスト、ワーグナー、R. シュトラウスなどの影響を受けて、色彩豊かな美しいメロディーにあふれたものとなった。

本日は、ロシアのコングレス・バレエ&シンフォニーオーケストラの首席客演指揮者であられる守山俊吾先生の編曲により、第1幕「情景」、第2幕「アラビア少年の踊り」「サラセン人の入場」、第3幕「間奏曲」の4曲を抜粋して演奏する。

バレエ組曲「エスタンシア」

バンドネオンとアルゼンチン・タンゴの巨匠アストル・ピアソラを始めとして、近年、ラテン・アメリカの音楽が見直され、ちょっとしたブームを呼んでいるが、アルベルト・ヒナステラもまた、アルゼンチンを代表する作曲家の一人である。

「エスタンシア」は大農場のことで、このバレエは都会から農場にやってきた青年たちが牧童たちとの争いに勝利して農園の娘達と結ばれる、という筋書きである。

ヒナステラは1941年に作曲したこのバレエ音楽の中から4曲を選んで組曲とした。6/8拍子を主体に書かれ、2拍子と3拍子が交錯しながらとめどなく進行していく形式は、ストラヴィンスキーの影響とされているが、ヒナステラの音楽には、民族音楽的要素がふんだんに盛り込まれた南米独特の薫りがある。

組曲は全体的に粗野で男性的な舞曲を中心に構成されているが、その中で第2楽章に置かれた「小麦の踊り」の美しさは印象的である。

フニクリ・フニクラ

ルイジ・デンツァは、30年の作曲家生活の中で、一幕ものの小さなオペラを書く意外はその生涯のほとんどを歌曲の作曲に費やしている。その数は実に500曲以上に上るが、1880年のフニクリ鉄道開通を記念して書いた短いナポリ・ソング、「フニクリ・フニクラ」の作曲家として知られることが多い。簡単で力強いメロディーが人々の心を魅了し、当時50万部の売上を記録。今も人々の間に深く浸透している。

チューバ吹きの日

ご存じのとおり、チューバはほとんどの曲でベースラインを担当している。いわば「縁の下」の力持ち、的楽器である。そのチューバが大活躍するのが、この「チューバ吹きの日」である。ジャジーなメロディーラインには、たまには「普段のお仕事」もひと休み、主役を演じてもいいじゃないか—そんな想いがあふれている。

イスパニア・カーニ

3本のトランペットを主役にした、協奏曲的な曲。イスパニア・カーニとは、スペイン語で「ジプシーのスペイン」という意味で、「スパニッシュ・ジプシー・ダンス」という英語タイトルでも知られている。

インド北部に起源を持つといわれる流浪の民族・ジプシーは、道芸に優れた才能を持ち、住み着いた土地の音楽舞踊を取り入れて、個性的な芸を生み出している。ハンガリーのバイオリン音楽やスペインのフラメンコはその典型的な例であり、この「イスパニア・カーニ」もまた、スペイン独特のリズム、パソ・ドブレの代表的な曲で、スペインの闘牛場で闘牛士の入場行進に合わせて演奏され親しまれるようになった。その後、社交ダンスにも取り入れられ、さらに広く知られている。

宮崎駿アニメ・メドレー

大人から子供まで、世界中で広く愛されてやまない宮崎駿のアニメ映画。一昨年の「もののけ姫」の大ヒット、ロング・ラン上映は記憶に新しいところである。

このメドレーでは、私たちに夢を与え続けてくれる数々の名作の中から「魔女の宅急便」「となりのトトロ」「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」「もののけ姫」のおなじみの曲を取り上げている。

ガーシュウィン!

ジョージ・ガーシュウィン(1898~1937)は、ニューヨークのブロードウェイ・ミュージカルの世界において大きな成功を収めた作曲家。昨年生誕100年を迎え、その功績が再びクローズ・アップされている。

ガーシュウィンは早書きの天才で、毎日20曲ぐらいを書きそのうち2、3曲を残すという形で名曲を次々に発表し、今なおスタンダードとして愛唱され、演奏され続けているものが多い。特に、兄のアイラ・ガーシュウィンの歌詞によるブロードウェイミュージカルはヒット続きで、「レディ、ビー・グッド」のフレッド・アステア、「オー・ケイ!」のガートルード・ローレンス、「ガール・クレイジー」のエセル・マーマンら、数々のスターを生み出した。

「ガーシュウィン!」はこれら3つの作品から、「ファッシュネイティング・リズム」「エンブレイサブル・ユー」「サムバディ・ラブズ・ミー」「サムワン・トゥ・ウオッチ・オーバー・ミー」「アイ・ガット・リズム」を取り上げ、吹奏楽のためにアレンジしたラブソニーである。

枯葉

ハンガリー生まれのフランスの作曲家ジョセフ・コスマ（1905～1969）、同じくフランスの詩人ジャック・プレヴェールによる、シャンソンの名曲。この曲でデビューしたジュリエット・グレコは、シャンソン歌手として不動の地位を築いた。この曲はまた、イブ・モンタン主演の映画「夜の門」（1946、日本未公開）のタイトル・ミュージックとしても知られている。

本日は、哀愁漂うシャンソンのイメージを見事に生かした、A. リードのアレンジでお届けする。

サウンド・オブ・ミュージック・メドレー

「サウンド・オブ・ミュージック」は、「オクラホマ!」「回転木馬」「南太平洋」など数々の傑作ミュージカルを生み出した名コンビ、オスカー・ハマースタイン 世（作詞）、リチャード・ロジャース（作曲）による最後の作品で、1959年11月16日にルント・フォンテイン劇場で初演された。1443回の上演記録を持ち、1965年にはジュリー・アンドリュースの主演により映画化されている。

物語は、第2次世界大戦中にナチス勢力が迫っているオーストリアからアメリカへと亡命した、トラップ・ファミリー・シンガーズの実話を基にした、家庭教師のマリアと7人の子供たち、父親のトラップ大佐らが織りなす、愛と希望にあふれたストーリーで、「サウンド・オブ・ミュージック」「ドレミの歌」「一人ぼっちの羊飼い」「さようなら、ごきげんよう」「エーデルワイス」「すべての山にのぼろう」などの名曲を生み出した。

The List of Members

CONDUCTOR

野中 友雄

FLUTES & PICCOLOS

遠藤多珠子 岡田 正美 桐竹 由美 塩津 恵 長崎 友子
大西 勇二☆ 岡田真由美☆

OBOES & COR ANGLAIS

浮田佳代子 佐口 康晴☆

BASSOONS

奥野 徳雄☆ 数野 一恵☆

B♭ CLARINETS

安宅 忠司 井関 由紀 小野由紀子 児新 綾 関 文彰
中道 玲 平田 純子 水川かおり 森 久仁江 横山 弓子
福島 信一☆

BASS CLARINETS

岡本美津子 渡辺 順子

ALTO SAXOPHONES

関 博美 松永 誠

TENOR SAXOPHONE

荻田 朋子

BARITON SAXOPHONE

坂根 聡☆

HORNS

上田 千巻 川内美由紀 高谷麻里子 中力 康恵 東山七奈美

TRUMPETS & CORNETS

出射 利明 遠藤 博子 小田 美幸 小林 行 林 園子
藤原 裕之 藤原 靖彦 渡邊 浩治

TROMBONES

岡 展代 岡本 国芳 幸野 美紀
小原 則行 西郷 和博 高見 康彦

EUPHONIUMS

小郷真由美 佐藤 裕史

TUBAS

矢尾 哲平 高畠 智則☆ 辻田 将一☆

DRUMS & PERCUSSION

今川真由美 影下 明子★ 深見 順子 伊谷 英子☆ 大上奈津子☆
岡本枝里子☆ 友次 宏之☆ 藤井 由起☆

☆ ごいっしょに吹奏楽しませんか？

倉敷アカデミックウインズでは常時団員を募集しております。学生時代に吹奏楽を経験された方で、その後も演奏活動を続けていきたいと思われている方、ぜひ一度見学にいらしてください。技術も伝統もまだまだこれからというバンドですが、私たちと一緒に楽しみませんか？

詳しくは、倉敷アカデミックウインズ事務局（090-8997-8649）までご連絡下さい。



(1998年8月、吹奏楽コンクール県大会より)

☆ 倉敷アカデミックウインズのホームページ

当団ではホームページを開設してインターネットに情報を発信しています。ページ上では団の紹介や活動履歴、演奏会の情報などのほか、クイズやチャットなども常設してみなさまのお越しをお待ちしています。ぜひ遊びに来て下さい。

<http://village.infoweb.ne.jp/~fwht1432/kaw/kaw.html>

第7回定期演奏会実行委員会

委員長	藤原 裕之	岡本 国芳	児新 綾
	安宅 忠司	佐藤 裕史	
	小原 則行		